

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和6年2月9日

公表: 令和6年2月12日

放課後等デイサービス ぱすてる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	パーテーションや机等の配置を配慮している	机が足りない時があるので環境を見直していく
	2	職員の配置数は適切である	7	2		最低人員はいるが、活動により人を配置出来るよう考えたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1	2階は手すりをつけたり上り下りの危なそうな方は付き添っている	設備等を日々の中で確認しながら、安全面に気をつけていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		職員間で支援の振り返りをしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		アンケート結果を基に話し合い、改善策を出している	今後も送迎時や面談等で保護者等の意見を把握していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		改善している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	必要であれば改善したい	必要であれば実施していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		研修の案内を回覧したり会議やミーティングで伝達している。署員の経験年数や困っている事に応じた勉強会をしている	
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		・アセスメントを丁寧にとり日々の中でも家庭等の様子を聞き取っている ・保護者ともコミュニケーションを多くとり、ニーズを引き出している	今後も丁寧なモニタリングや面談等しながら作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	写真や手話、マカトン等利用者により配慮している 関係者からの情報や関わりの中で状況把握している	個々に応じた障害特性を踏まえ考えていこうと思う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		会議等で案を出し合っている。職員が意見を出しやすいようにしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		長期休暇等と平日の内容を工夫している。大まかな予定は変えず個々に応じたプログラムを提供している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		行事等季節感のある内容を設定している。祝日等利用児童によって設定している	

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9		個別的・集団的活動を個々の児童で必要な内容を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3	利用者の様子や特記事項を共有し細やかに打ち合わせをしている。	今後も打ち合わせをしながら支援を継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		当日に共有したり翌日に打ち合わせして振り返る。特記事項は電話で伝えたり支援前には情報共有している	電話連絡等で振り返れるようにしていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		記録の書き方など注意点を共有したり、見返して支援内容を検討している。記録に細かく項目が設けられている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		到達している時点で見直している。1・3・6か月の評価をして支援計画があっているか検討している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9		時々総則を確認している。必要に応じてガイドラインを見ている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児童発達支援管理責任者が主に行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		トラブル発生時等は迅速に連絡を取り情報共有している。先生との引き継ぎを大事に行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	3	必要な子を受け入れる場合は検討し整えている。	受け入れる場合は整えたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	会議や相談支援事業所から情報をもらい努めている相談員や親からの情報を集めるようにしている	今後も相談員や親からの情報を集めて支援に反映していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		相談支援事業所に伝えたり移行先の会議に参加している。サービス調整会議等で行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		研修参加や相談など常に連絡をとっている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4	夏休みなど児童館で地域の子と触れ合う機会をつくった	長期休暇時や祝日に児童館への外出をしたが感染症の動向もみて機会を検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2	定期的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		学校からの引き継ぎ、支援中に気づいた児童の様子を伝えていく。面談も行い保護者との情報共有は大切にしている	なかなか会えない保護者様には電話等で共通理解に努めていく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9		必要に応じてアドバイスしている	内部研修等で制度や保護者支援のスキルアップをしていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		連絡帳の記載や送迎時その他電話やメール、面談で行っている。必要に応じてアドバイスや情報共有している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5	保護者が集まれるような会を作っていく予定	今年度は説明会を実施予定。今年度は保護者間の交流の機会にもしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		怪我やトラブルがあった際はすぐに連絡し、迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	5	連絡帳や送迎時等で発信している	今後もイベント等は口頭や案内を配布していく
	35	個人情報に十分注意している	9		十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		手話や視覚的配慮をした作業内容に努めている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8	地区内の懇談会に参加して意見交換した	来年度も懇談会に参加出来たら行き、意見交換しながら地域に根差した事業運営につなげたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	会議等で周知するようにしている	閲覧の仕方や説明会等で周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	火災含め訓練している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	市主催の研修等に参加している	オンライン等の研修も積極的に参加してスキルアップしていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	丁寧に説明したうえで記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	保護者からアレルギー数値表をもらっている。おやつ等を食べれる物に気をつけている	アレルギーでない利用者様も体調により配慮している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	全職員に回覧し、同じことが起きないようにしている。職員で共有し、周知できるようにしている	